

(社)日本原子力学会  
第43回倫理委員会議事要旨

日 時 H21.3.25(水)14:45~17:15  
場 所 東京工業大学大岡山キャンパス 会議室2  
出席者 北村、大場、班目、小沢、鐘ヶ江、作田、谷、辻、鳥飼、宮越、三好、矢野  
(12名)  
大塩(傍聴者)

配布資料

資料 43 - 1	第42回倫理委員会議事要旨(案)
資料 43 - 2	「技術者倫理教育に関するアンケート調査」実施要領
資料 43 - 3	(1) 技術者倫理教育はどこに向かうのか (2) 科学技術倫理教育システムの調査研究 (3) 技術者倫理に関する学会対応調査について (4) (電気学会)倫理委員会の活動計画及び進捗状況
資料 43 - 4	倫理規程制定および改訂の変遷のまとめについて
資料 43 - 5	(1) ポジションステートメント会員意見公募について (2) 各部会からの原案 (3) 作成の目的・作成要領・意見公募要領
資料 43 - 6	原子力施設立地地域での倫理研究会の開催について
資料 43 - 7	平成20年度収支予算及び実績表
資料 43 - 8	倫理規程の検討結果一覧
資料 43 - 9	倫理委員会運営申し合わせ(内規41)
資料 43 - 10	第24回技術倫理協議会議事録
参考資料 43 - 1	「原子力行の倫理とコンプライアンス」

議事

1. 資料43-1により前回議事要旨を確認した。
2. 大場副委員長より資料43-2を用いて室蘭工業大学が行った大学における技術倫理教育の取り組みについてのアンケート調査の紹介があった。委員会として、他の関連組織の協力を得ながら、原子力分野に限った技術倫理教育の現状調査を実施することを検討してもよいのではないかといった意見が出された。また、技術倫理協議会が春以降に行うこととしているアンケート調査の内容や結果について、担当委員を中心に情報を集めることとした。
3. 大場副委員長より資料43-3(1)~(4)を用いて、工学系学会における技術倫理の取り組みについて説明があり、特に会員の不正行為に対する措置に関する倫理委員会

のスタンスを確認するとともに、意見交換を行った。

- 4 . 大場副委員長より資料 43 - 4 を用いて倫理規程の制定および改訂の変遷を記録として残す方法についての提案および説明があった。このような記録の重要性について委員の賛同を得ることができたため、今後も大場副委員長が作業を進めることとなった。
- 5 . 大場副委員長より資料 43 - 5 ( 1 ) ~ ( 3 ) を用いてポジションステートメントワーキンググループの活動の現状報告があった。各案については各委員で目を通し、必要に応じて意見を応募することとした。また、委員会として、こうしたステートメントをどのように整理していくかについての意見交換がなされた。尚、倫理規程に関する記述のミスについては、大場副委員長が連絡することとした。
- 6 . 鳥飼委員より資料 43 - 6 を用いて、原子力施設立地地域での倫理研究会の開催案について説明があった。立地地域によって状況が異なることから、任期内に開催することを前提に、時期および場所について再度検討することとした。
- 7 . 谷委員より資料 43 - 7 を用いて平成 20 年度倫理委員会予算執行状況と平成 21 年度予算案の変更について説明があり、了承した。
- 8 . 班目幹事より資料 43 - 8 を用いて、倫理規程の検討結果についての説明があり、参加者全員 ( 委員の 1/2 超 ) によって、倫理規程の修正案が了承された。これにより、2009 年倫理委員会修正案をホームページにて公開し、4 月 1 日から 5 月 31 日まで公衆審査を行うこととした。
- 9 . 班目幹事より資料 43 - 9 を用いて倫理委員会運営申し合わせの改訂についての説明がなされた。参加者全員の賛成 ( 委員の 1/2 超 ) により、委員会配布資料のうち冊子類についての保管を他の委員会などと合わせ半年とすることが了承された。また、研究会の報告書など電子情報があるものについては、できるかぎりホームページ上に掲載していくことを確認した。
- 10 . 大場副委員長および辻委員より資料 43 - 10 を用いて技術倫理協議会の活動についての報告があった。
- 11 . 鳥飼委員より参考資料 43 - 1 を用いてシンポジウム「企業と技術者と倫理とコンプライアンス」の参加報告があり、参加した委員を中心に意見交換を行った。
- 12 . 次回は 5 月 22 日 ( 金 ) の 13 時半から開催することとした ( 場所未定 ) 。